

感染防止安全計画 (様式1) (2022.9.8版)

1. 開催概要

※「感染防止策チェックリスト」の開催概要の添付でも可

イベント名	2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム (開催案内等の URL があれば記載) https://saitama-criterium.jp/	
出演者・チーム等	別紙のとおり (多数のため収まらない場合→別途、一覧をご提出ください。)	
開催日時	令和4年11月6日 (11時00分～17時00分) ※複数回開催の場合別途、開催する日時の一覧をご提出ください。	
開催会場	さいたま新都心駅周辺 (会場の URL があれば記載)	
会場所在地	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4丁目57-3	
主催者	一般社団法人さいたまスポーツコミッション	
所在地	さいたま市浦和区仲町4-2-20 エコ計画浦和ビル 2F	
責任者氏名	遠藤 秀一	
連絡先	電話 048-762-8349 メールアドレス cycle-jigyuu@saiamasc.jp	
収容率 (上限)	大声なしで開催	
いずれかを 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ①収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/> ②収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催	
	<input checked="" type="checkbox"/> ③収容定員あり 大声なしのエリア：100% 大声ありのエリア：50%	<input checked="" type="checkbox"/> ④収容定員なし 大声なしのエリア： 人と人が触れ合わない程度の間隔 大声ありのエリア： 前後左右の座席との身体的距離(座席間は1席 (座席がない場合は最低1m)空ける)を確保
収容定員	4,100人	---
参加人数	約10万人(前回大会実績)	
その他 特記事項	屋外の収容定員を設けない沿道観戦エリア 屋外の収容定員を設ける沿道エリア(約1,600) 屋内の収容定員を設けるさいたまスーパーアリーナ内観戦エリア(約2,500席)	

※大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」とする。

※収容率(上限)において、③を選択した場合は、「大声あり」と「大声なし」のエリアの区分ごとの収容定員・参加人数を記載すること。

2. 具体的な対策

※対策を取られる項目にチェックを入れた上で、具体的な対策をお書きください

1. イベント参加者の感染対策

(1) 感染経路に応じた感染対策

① 飛沫感染対策

<チェック項目>

- 適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底
- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保

（「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、）

- 大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保
- 大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- ⇒ マスクを着用しない者や大声を出す者（大声なしの場合）に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施
 - マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客（大声なしの場合）の退場措置の事前準備・周知（チケット購入時の約款に明記等）
 - 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整
 - 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底
- ⇒ 入場ゲートの増設、開場時間の前倒し、時間差・分散退場の実施、密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築、交通機関との連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導
- ⇒ 密になりやすい場所での二酸化炭素濃度測定器等を活用した混雑状況の把握・管理、マーキング、誘導員等の配置による誘導

（「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、）

- ⇒ チケット販売時等におけるエリア区分に関する周知・徹底
 - イベントごとの声出し応援のルール等の周知・徹底
 - 座席指定などエリアごとにチケットを分けて販売
- ⇒ 主催者及び出演者等からのアナウンスや警備員の配置等による、大声なしエリアにおける応援自粛の呼びかけ、及び大声を出す者がいた場合の個別注意や退場の徹底

具体的な対策をお書きください

事前の対策

- ・ 大会公式 SNS、ホームページ及び大会周知チラシにおけるマスクの着用や大声を出す行為の自粛を促す注意喚起

大会当日の対策

- ・ 誘導員や場内アナウンスによるマスクの着用や大声を出す行為の自粛の呼びかけを実施
- ・ 誘導員による個別注意の実施
- ・ 会場内における注意喚起

②エアロゾル感染対策

<チェック項目>

- 機械換気による常時換気又は窓開け換気
 - 必要な換気量（一人当たり換気量 30 m³/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね 1,000ppm 以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的）
 - 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け
 - 機械換気、窓開け換気ともに、相対湿度の目安は 40-70%
 - 屋外開催は除く
- 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】
- イベント会場(客席、入退場口やトイレ等の共用部)におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

<具体的な対策>

<記載項目(例)> (※) 対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

⇒各施設の設備に応じた換気

- 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気
- 二酸化炭素濃度測定器による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施
- 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス

⇒マスクの着用及び距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照

具体的な対策をお書きください

- ・施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気の実施

③接触感染対策

<チェック項目>

- ☑ イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施
- ☑ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- ⇒具体的な手洗場、アルコール等の手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施
- ⇒アナウンス等による手洗・手指消毒の呼びかけ
- ⇒距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照

具体的な対策をお書きください

事前の対策

- ・大会公式 SNS、ホームページ及び大会周知チラシにおける来場者同士が触れ合わない間隔確保、こまめな手指消毒を促す注意喚起

大会当日の対策

- ・歩行者の動線を確保し、誘導員や場内アナウンスによる観戦エリア以外は立ち止まらない注意喚起
- ・誘導員や場内アナウンスによる来場者同士が触れ合わない間隔確保の注意喚起や手指消毒の呼びかけを実施
- ・会場における手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施

(2) その他の感染対策

④ 飲食時の感染対策

<チェック項目>

- 上記(1) 感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等）の徹底の周知

<具体的な対策>

<記載項目(例)> (※) 対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- ⇒アナウンス等による飲食時の感染対策の呼びかけ
- ⇒飲食専用エリアの設置及び当該エリアでの飲食の推奨
- ⇒飲食店に求められる感染対策等を踏まえた飲食専用エリアでの感染対策（身体的距離の確保、マスクを外して会話を行う者への個別注意等）

具体的な対策をお書きください

事前の対策

- ・大会公式 SNS、ホームページにおける飲食時における注意喚起（会話時のマスク着用、大声での会話自粛等）。

大会当日の対策

【飲食可能エリアの対策】

- ・適切な換気の実施
- ・飲食提供者の手洗い、消毒及びマスク着用の徹底
- ・会話時のマスク着用及び大声での会話自粛の注意喚起
- ・飲食用テーブルの小まめな消毒の実施

⑤ イベント前の感染対策

<チェック項目>

- 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

⇨ 体制構築の上、検温・検査の実施

⇨ 発熱等の症状がある者の参加自粛を促すことができるキャンセルポリシーの整備

具体的な対策をお書きください

事前の対策

- ・ 37.5℃以上の発熱がある場合の来場自粛の注意喚起

大会当日の対策

- ・ 収容定員を設けるエリアにおける受付時の検温

※ 37.5℃以上ある方は来場をお断りする。

⑥感染拡大防止策

<チェック項目>

- イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

- ⇒感染者が発生した旨の参加者への迅速な周知
- ⇒COCOA や各地域の通知サービス（Bluetooth や QR コードを用いたもの等）等による来場者情報の把握・管理手法の確立（アプリ等の確実なダウンロードや来場者情報を把握するための具体的な措置の検討）
- ⇒チケット購入時の参加者の連絡先把握

具体的な対策をお書きください

事前の対策

- ・収容定員を設けるエリアにおける来場者の連絡先の把握

2. 出演者やスタッフの感染対策

⑦ 出演者やスタッフの感染対策

<チェック項目>

- 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における上記（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施
- 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施

<具体的な対策>

<記載項目（例）>（※）対策の例であり、必須の取組ではないことに留意すること

⇒ 日常から行う出演者やスタッフの感染対策の実施

- 健康アプリの活用等による健康管理
- 出演者やスタッフの必要に応じた検査の実施
- 発熱等の症状がある者は出演・練習を控える
- 練習時やその前後の活動等における適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフの関係者間の適切な距離確保、換気等

⇒ 本番及びその前後の活動における出演者やスタッフの感染対策（舞台上等でのマスク着用の有無などに応じた適切な距離の確保、換気、飲食を伴う際の適切な感染対策等）の実施

⇒ ステージと観客席間の適切な距離の確保、出演者やスタッフ及び観客双方への感染対策への周知

具体的な対策をお書きください

事前の対策

- ・ 大会関係者の大会前 1 週間の健康管理
- ・ 来場者と選手の交流を制限する注意喚起

大会当日の対策

- ・ 選手と接触する大会関係者の制限を実施
- ・ 選手と来場者の接触機会の制限を実施

※提出時には、イベントのチラシや計画書等（既存資料）、参考とした業種別ガイドライン等も添付してください。

以降は、該当する場合のみ記載してください

3. 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家：（所属、氏名）

主な助言内容：